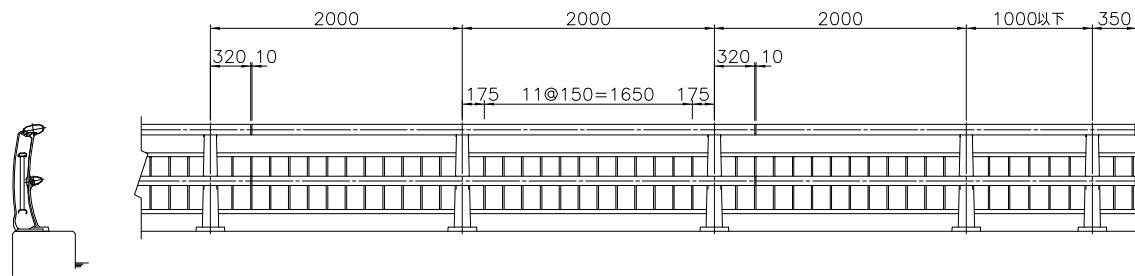
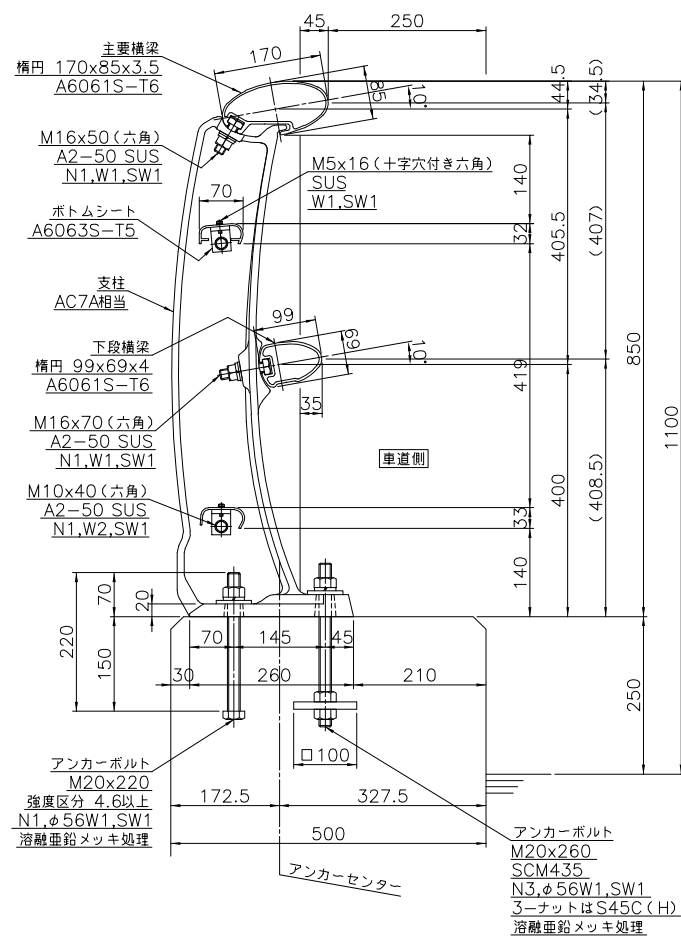


姿 図 S=1/30

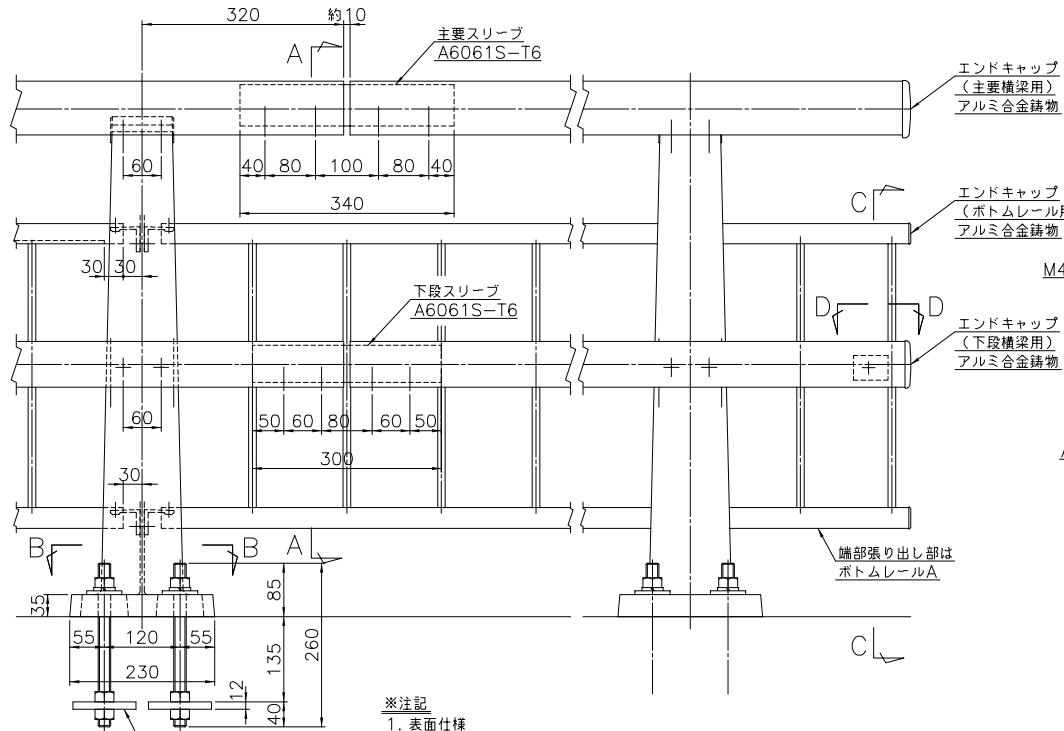


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 C種

繼手部

端 部

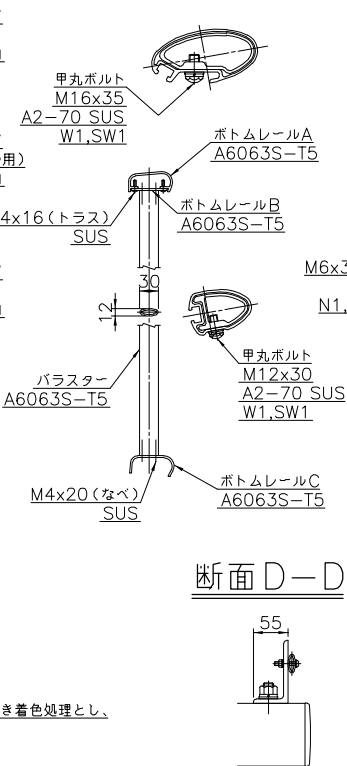


※注記

1. 表面仕様
主要構梁、下段構梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
2. 本防護槽の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製梁用防護槽設計要領」（平成30年6月）
「アルミニウム合金製梁用防護槽製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護槽の支は、レベール用を示し、0～2.5%加配に使用とする。
5%用は2.5%～7.5%加配に使用とする。

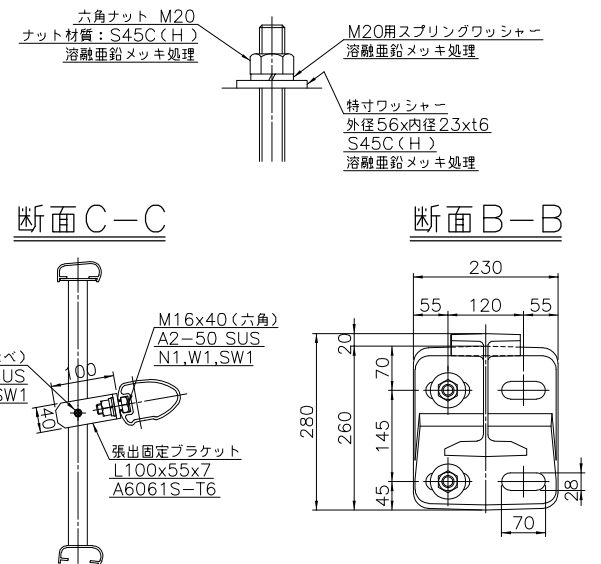
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

断面 A—A



断面 D—D

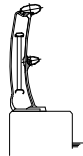
アンカーナット締め付け部 S=1/3



日軽エンジニアリング（株）

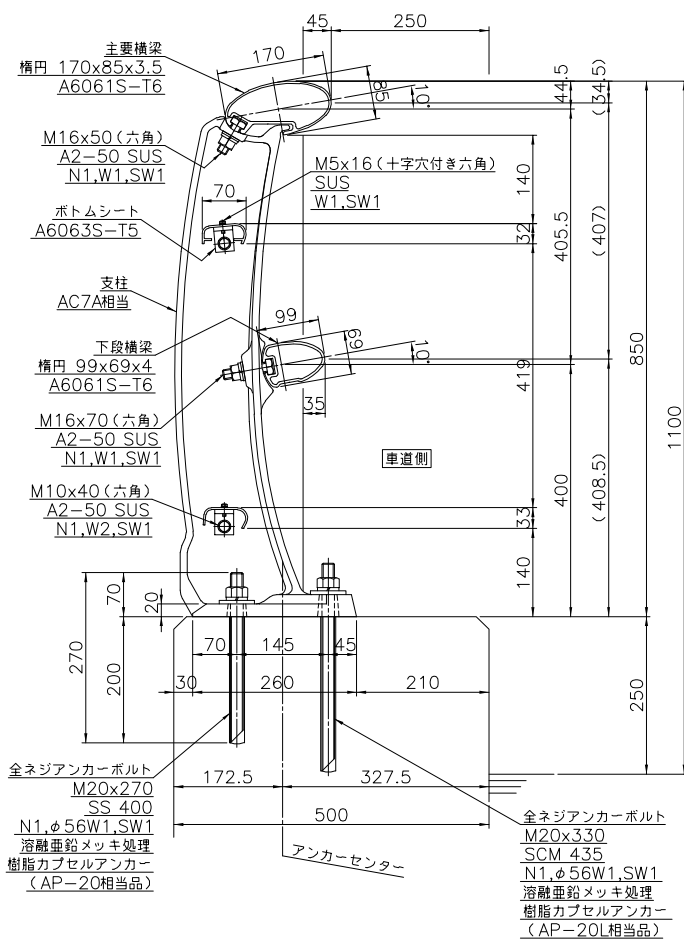
NC-32EB-85N

高欄兼用車両防護柵 C種
2本ビーム+格子付き H=850mm
ナット締め付けアンカー式

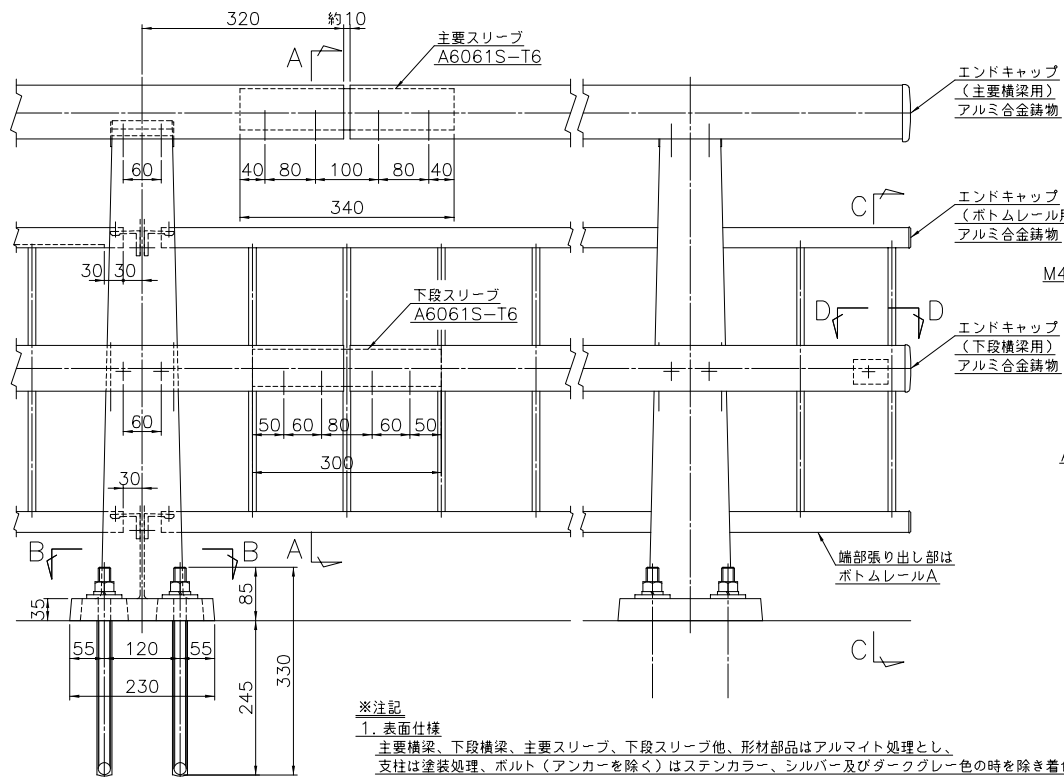
$$\underline{S = 1/30}$$


車両防護柵取付詳細図 S=1/6

種別 C種



端 部

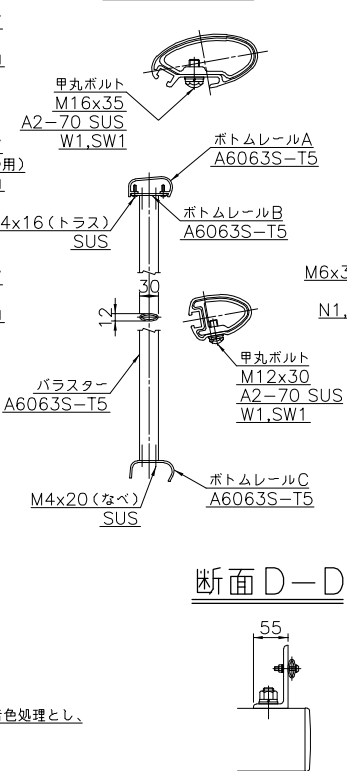


※注記

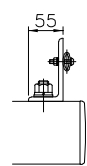
1. 表面仕様
 主要構梁、下段構梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
 支は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
 色調は別途打合せとする。
2. 本防護槽の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
 「アルミニウム合金製橋梁用防護槽設計要領」（平成30年6月）、
 「アルミニウム合金製橋梁用防護槽製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護槽の支は、レベール用を示し、0~2.5%加配に使用とする。
 5%用は2.5%~7.5%加配に使用とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

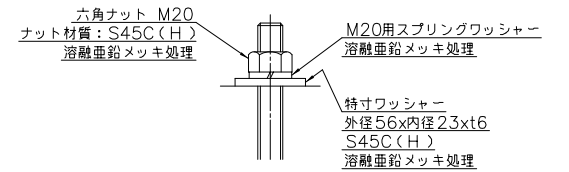
断面 A—A



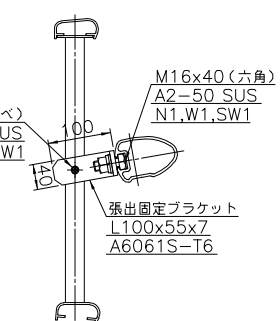
断面 D—D



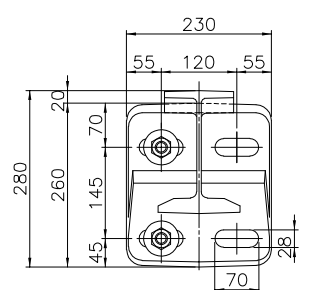
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面 C—C



断面 B—B



日軽エンジニアリング（株）

NC-32EB-85CH

高欄兼用車両防護柵 C種
2本ビーム+格子付き H=850mm
樹脂カプセルアンカー式